

# ピックアップと ダイレクトボックス (DI)

# ベースのピックアップ

シングルコイル



- ジャズベースに多い
- フロントとリアの2機搭載されている
- 明るく明瞭なサウンド
- ノイズが乗りやすい

ハムバッカー



- プレシジョンベースに多い
- 中央に1機搭載されている
- 太くたくましいサウンド
- ノイズが乗りにくい

# さまざまなピックアップタイプ



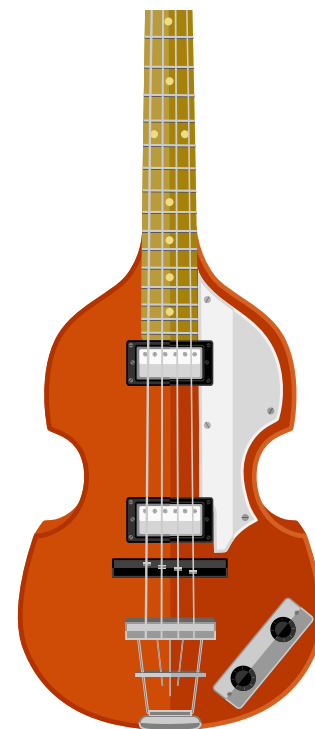
ハムバッカー1機



シングルコイル2機



シングルコイル1機  
ハムバッカー1機



ハムバッカー2機

# ピックアップポジションによるサウンドの違い



- ① フロントピックアップ: 太くて甘い音
- ② リアピックアップ: 明るくてタイトな音
- ③ センター: その中間(ノイズ抑制効果も)

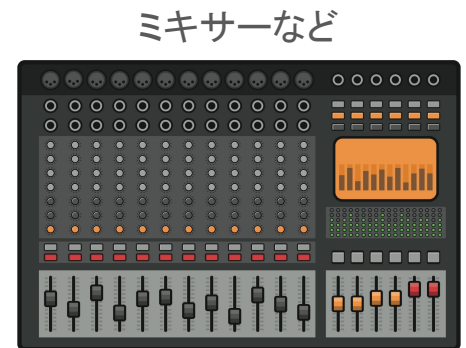
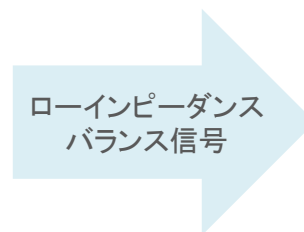
# アクティブベースのイコライザー



アクティブベースのコントロール部  
イコライザーが搭載されている  
(写真は2バンドのもの)

# ダイレクトボックスの役割

- ① ダイレクトボックスを通すことでインピーダンスを下げ、ミキサーやオーディオインターフェイスに直接接続することができる。
- ② アンバランス信号をバランス信号に変換し、長いケーブルの引き回しでもノイズが乗りにくくなる。



## Inst入力とHi-Z入力



オーディオインターフェイスやマイクプリにはハイインピーダンス入力を受け付けるための端子がついている場合がある。

この場合は、ダイレクトボックスなしで直接挿しても問題ない。

「Inst」または「Hi-Z」と書かれた端子がそれで、左図のように楽器のアイコンが書かれていることも。